

フローリングの施工・お手入れについて

この度は弊社商品をご検討・ご採用頂き、誠にありがとうございます。

天然木のフローリングをご使用頂くことで、木の温もりや素材感、重厚感を存分に味わって頂くことができます。また、天然木は健康面でもたくさんの利点があり、非常に優れた素材です。

その反面、機能面では一般的な工業製品に劣る部分も多くあります。天然木はご使用頂く環境によって伸びたり縮んだりします。それによりフローリングに隙間があいてしまったり、逆にフローリング同士が押し合せて、突き上げを起こすこともあります。そういった意味で、天然木のフローリングは万能なものでは決してございませんので、ご使用頂くメリット・デメリットをしっかりと比較して頂いたうえで、ご検討頂ければ幸いです。

天然木フローリングをご使用頂くにあたって、デメリットとなる部分を極力少なくするためにも、以下の内容を熟読頂き、施工・お手入れ時にお役立て下さい。尚、弊社では天然木であるがゆえに起こる現象（材の伸縮・割れ・突き上げ・床鳴り・虫害等）に対しての、返品・交換・補修工事等の対応は行っておりませんので、あらかじめご了承下さい。

✓施工の前に

- ・広葉樹（オーク・ブラックウォールナット等）の場合、施工の数日前には開梱し、現場の環境に馴染ませてから施工して下さい。逆に、針葉樹（パイン等）の場合は、施工の直前に開梱して下さい。
- ・天然木の色ムラのバランスを調整するため、施工前の仮並べをお勧め致します。また乱尺商品の場合は、色ムラ以外にも、材の長さやジョイントのバランス調整を行うことをお勧め致します。隣接する短手のジョイント同士が、材の幅以上離れていることを基準として、割付けを行って下さい。

✓施工に関してご注意頂きたいこと

- ・突き上げを防ぐため、壁際には5〜10mm程度のクリアランス（隙間）を設けて下さい。また、材間にも名刺1〜2枚程度のクリアランスを設け、サネを強く叩き込み過ぎないように注意して下さい。
- ・接着剤が表面についた場合は、すぐに拭き取って下さい。
- ・塵やホコリがフローリングに付着するのを防ぐため、また日焼けを防ぐため、施工後は養生を行って下さい。特に、石膏ボードの粉が付着すると、取り除きにくいので注意が必要です。また養生の際、養生テープをフローリングに直接貼ることは避けて下さい。
- ・天然木は常に伸縮しているため、多少の寸法違いがあります。寸法違いが目立つ際は、同程度のものを選別しながら張り込んで頂く必要があります。

✓ノリ釘併用法（合板下地）の場合の注意点

- ・接着剤は木質床材用ウレタン樹脂系接着剤を使用し、フローリング裏面にまんべんなく塗布して下さい。
釘はスクリュー釘もしくは特殊接着剤付きステーブルをご使用下さい。また、釘の長さは材の厚みの3倍以上のものをご使用下さい。
- ・天然木は湿気を嫌います。床下には、法令に基づいた換気口を設置し、十分な換気が行われていることを確認して下さい。床下からの湿気が多い場所では捨て張り合板の下に防湿シートを入れる等の湿気対策をして下さい。
- ・根太組工法の場合、フローリングの張り方向は、根太と直交させて下さい。

✓直張り工法（モルタル下地）の場合の注意点

- ・接着剤は木質床材用直張り接着剤を使用し、フローリング裏面にまんべんなく塗布して下さい。
- ・セルフレベリング材で下地の不陸調整を行って下さい。
- ・下地は必ず含水率10%以下まで乾燥させてから、フローリングを施工して下さい。
- ・フローリングは、必ず裏面にカルブの付いた直張り用（ダイレクト）商品をご使用下さい。
- ・施工後、接着剤が乾燥、硬化するまで圧着して下さい。

✓床暖房向けフローリング施工時の注意点

- ・床暖房向けフローリングであっても、天然木である限り、多少の伸縮や割れが発生する場合がございますので、ご注意下さい。
- ・熱源の上に5.5mm厚以上の合板を捨て貼りし、その上にフローリングを施工して下さい。
- ・接着剤は床暖房上への施工に適したウレタン樹脂系のものをご使用下さい。

✓お手入れについて

- ・日常のお手入れは、掃除機等でゴミを取り除き、乾いた雑巾もしくは固く絞った濡れ雑巾等で拭いて下さい。
- ・フローリングに水分をこぼしてしまった場合、早めに拭き取るようにして下さい。膨張や割れ、シミ（特にオイル塗装の場合）の原因となります。汚れが付着した場合は、中性洗剤を雑巾等に含ませてから拭き取って下さい。
- ・オイル塗装仕上げのフローリングに関しては、使用されているオイルのメーカーのメンテナンス要領に従って、お手入れを行って下さい。弊社では主にBona社のオイルを使用しており、メンテナンス用品の販売も行っております。ご希望の際はお問い合わせ下さい。
- ・ウレタン塗装（UV含む）仕上げのフローリングに関しては、日常のお手入れ以外に、特に定期的なメンテナンスは必要ありません。
- ・合板フローリングに使用するような美装用ワックスは使用しないで下さい。
- ・無垢もしくは厚単板張りのフローリングは、表面に傷がついたり、凹んでしまった場合でも、比較的簡単に補修することが可能です。180番程度のサンドペーパーでその部分をならし、素地が露出した部分に同じ塗料を塗れば仕上がります。ただし、ウレタン塗装（UV含む）仕上げの場合は、専門業者による塗装が必要です。
- ・電気カーペットをご使用の際は、下に断熱マット等を敷いて下さい。

ご不明な点等ございましたら、お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

